

表エラー! 指定したスタイルは使われていません。 津波痕跡高の信頼度の分類 (1960年チリ地震津波以降)

| | | 判 断 基 準 |
|-------------|---|--|
| 信 頼 度 | A | 信頼度大なるもの。 痕跡明瞭にして、測量誤差最も小なるもの。 |
| | B | 信頼度中なるもの。 痕跡不明につき、聞き込みにより、周囲の状況から信頼ある水位を知るもの。 測量誤差小。 |
| | C | 信頼度小なるもの。 その他砂浜などで異常に波がはい上がったと思われるもの、あるいは測点が海辺より離れ測量誤差が大なるもの。 |
| | D | 信頼度極小なるもの。 高潮、台風などの影響で痕跡が重複し、不明瞭なもの、等。 |

表 2 津波痕跡高の信頼度の分類 (1960年チリ地震津波以前)

| | | 判 断 基 準 |
|-------------|---|---|
| 信 頼 度 | A | 信頼度大なるもの。 古文書・郷土史等に記載され、痕跡の場所を現在でも確認でき、しかも近年になって測量されて高さの確定されたもの。 |
| | B | 信頼度中なるもの。 古文書・郷土史等に記載され、痕跡の場所を現在でも確認できるが、近年の再測量のなされていないもの。 |
| | C | 信頼度小なるもの。 古文書等に記載、或いは言い伝えられてはいるが、字名、集落名などにとどまり、到達地点を確かめることの出来ないもの。 |
| | D | 参考値にとどまるもの。 古文書等の関連現象・被害の記述から推測されたもの。 |

【首藤教授作成「古文書記録の信頼度に関する覚え書き」(第7回津波評価部会 資料3)】

表エラー! 指定したスタイルは使われていません。 -1 津波痕跡高の信頼度の分類

| | |
|---|---------------------------|
| Z | A~Dに当てはまらず、信頼度評価不適と判断したもの |
|---|---------------------------|